

令和5年度第1回青森市民図書館協議会会議概要

- 1 日時 令和5年11月9日(木) 14時30分～15時15分
- 2 場所 青森市民図書館8階会議室2
- 3 出席委員 伊藤理子 副会長、長尾亜希子 委員、木村紗耶香 委員
鳴海一成 委員、寺山千晴 委員、中園裕 委員、
稲見宗久 委員、安保静子 委員（8名）
- 4 欠席委員 大賀 重樹 会長、手塚理香子 委員（2名）
- 5 事務局出席職員 館長 村上泰子、室長 工藤大輔、主幹 福島貴子、
主幹 西田紀子、主幹 成田恵悦
- 6 傍聴者 なし
- 7 次第
 - (1) 開会
 - (2) 報告事項 青森市民図書館の概要について
 - (3) その他
 - (4) 閉会

8 主な質疑応答、意見等

《委員》

資料5ページ「(5)貸出文庫等」の「特別貸出」について、特別貸出の内容と、どのような大型紙芝居や大型絵本などがあるかを、青森市内の全保育園、全幼稚園等に周知してもらいたい。

周知してもらえれば、例えば、誕生会の集まりなどの行事の際、みんなが借りて利用できると思う。

《事務局》

特別貸出の利用方法、大型紙芝居や大型絵本などのリストを周知します。

《委員》

資料2ページ「入館者数」について、コロナの影響がかなり大きかったと思うが、今はコロナ前に戻した状態で対応しているのか。

《事務局》

コロナ前の状態に戻している。

利用実績としては、入館者数が令和5年10月末現在で前年度比104パーセントとなっており、利用者は戻ってきているものの、コロナ前の令和元年度には及ばない。貸出数は、前年度比92パーセントとなっており、まだ少し戻りきれていない。

《委員》

今後について、コロナ前の方針でいくのか、それとも、コロナ後ということで、何か新しい基軸があるのか。

《事務局》

次期図書館システム更新時には、図書館の利用者カードをスマートフォンで表示できる機能を導入するなどの構想を練っている。

《委員》

資料2ページ「入館者数」などの実績について、数字の増減にとらわれない方がよいと思う。コロナ禍の影響は確実にあると思うし、電子図書やスマホの普及などによって、そもそも本というものに対しての親しみを持っている子供たちが減っているのが現実的にあるので、貸出数の減少にとらわれるのではなく、質の向上、子供たちに少しでも紙媒体の本で知ってもらい機会や、高齢者にとって興味のあるイベント、講義等を実施し図書館に来てもらうことが必要だと思う。

利用者は緩やかに戻りつつあるなど、コロナ禍の影響は確実に減ってきているので、これからは、本という媒体をどうしていくか。紙媒体と電子媒体の使い分けというところにきており、むしろ、この数値はいい方だと思う。緩やかに戻りつつあるので、宣伝等々に力を入れて行く必要があると思う。

《事務局》

宣伝等々に力を入れて行く。